

# 平成25年度第4回鹿島区地域協議会 会議録

## <地域協議会の日時・場所>

- 1 日時 平成25年6月28日(金)  
開始 13:30  
終了 16:30
- 2 場所 鹿島区役所 大会議室

### 1 開会

#### ■地域振興課長

事前にお配りした次第にある「屋内運動施設について」の諮問事項については、7月開催の地域協議会での案件となった。本日16時より広報委員会を開催。

#### ■事務局

地域協議会成立要件の確認

委員数15名

【出席委員名】14名

澤田一夫、五賀和雄、折笠寛昭、鈴木直門、和泉ひで子、西道典、西文子、荒邦夫、郡俊彦、鈴木貞正、早川孝雄、前田典郎、立谷ちず子、大塚悦子

【欠席委員名】1名

松野豊喜

委員の過半数が出席していることにより、本会議が成立していることを確認。

### 2. 会長あいさつ

### 3. 区役所長あいさつ

### 4. 議事録署名人の指名

—澤田会長が、議事録署名人に立谷ちず子委員と大塚悦子委員を指名する。—

### 5. (1) 報告事項

#### ■サービスエリア利活用推進課長

資料により説明

#### ○西(文)委員

拠点施設整備関係について、斬新な発想で展開するということであるが、ある程度の構想は決まっているのか。

■サービスエリア利活用推進課長

その土地に行きたいと思ってもらえるような、他には無いようなものを作りたいと考えている。

○郡委員

スマートICの整備費、管理運営費についてはどうなっているか。

また、栃窪層において、恐竜の足跡が発見されて現在も化石研究会が活動しており、この恐竜の足跡は、非常に世界的にも珍しい。観光資源になるのではないかとされている。サービスエリアの誘致運動は、一時決め手に欠き、場所が鹿島に傾いた経過の中では、職員の有志らで作ったジュラシック構想というのがあった。

恐竜の足跡をさらに発掘していくと、2億年から3億年前のジュラ期の生きた動植物の姿が科学的に描くことができ、こうした鹿島の資源を生かせば、修学旅行に来る施設になるのではないか。

■サービスエリア利活用推進課長

スマートインターについて、計画では設置費として9億2,000万円、そのうち市が9,000万円を負担。管理運営については、ETCを利用する料金で賄い、市の持ち出しは無い。ETCの外側の道路の草刈り等に年間5~6万円。

拠点施設整備として、建物等の管理については指定管理者で考えている。

情報発信施設は市が負担、物産施設は管理運営の中で負担。現在の試算でトータルすると、管理運営で500万円ほど収益が出る見込み。

ただし情報発信施設については、今後その経費についてさらなる圧縮に努めることとなっている。情報発信施設の中で、化石の展示については今後検討したい。

○郡委員

採算がとれない場合、地元負担が生じることもあるのか。

■サービスエリア利活用推進課長

制度上、赤字になっても市に負担を求めることはない。

○前田委員

民俗資料館を造るスペースは確保できるか。

■サービスエリア利活用推進課長

資料館を作るようなスペースは今のところ無い。

○西(文)委員

化石は特殊な分野なので、わざわざサービスエリアに持ってくる必要はないと思う。

相馬野馬追があるので、馬を活かし、気軽に馬と子供たちが触れ合う場が実現できれば良いと思う。

○鈴木(貞)委員

物産販売施設は市内の業者が利用することになるかと思うが、「指定管理者」の運営になるのか各々業者による運営になるのか。

## ■サービスエリア利活用推進課長

独立採算性の視点から、指定管理者による運営となる。

## ■区役所長

S A研究会には地元の商工業者も入れる形での管理を研究している。

### (2) 委員提言について

提言の内容

右田地区に東日本大震災まであった松原のうち、津波で流されずに生き残った松がある。鹿島区のシンボルとしてこの松を残したい。

## ■産業建設課長

相双農林事務所森林林業部と協議を行った。

森林林業部では、地下水位から3mの盛り土をし、林帯幅200mの中にある、現在、生存している樹木はそのまま防潮林として生かすという考え方を基本的に持っているということであった。生存している樹木の周りに5m程の空隙を作る方法を検討していきたいということである。

福島県の外郭団体、グリーンアドバイスセンターの樹木医と連絡をとり、7月8日にその松を見ていただく予定。

市のスタンスとしては、生きている樹木であれば生きる対策をとり、無理であればそれ以上のことをする考えは持っていない。

## ○五賀委員

生きる状況であれば生かしたいというのが私どもの願い。多額のお金をかけてという思いまでは持っていない。

## ○立谷委員

7月8日に樹木医に診てもらう際に、私たち協議会委員も立ち合えるか。

## ■産業建設課

午前10時半に区役所または現地に11時前に行っていたいただければ案内できる。

## ■地域振興課長

この件については、8日の結果を待つからでよろしいか。

— 了 —

### (3) 協議事項

#### ①鹿島区の地域ビジョンの策定について

## ■事務局

資料により説明。

かしま元気スポーツクラブを通して、利用登録団体に体育施設についての調査をお願いしており、集計している段階である。それがまとまり次第、ご提示するのでそうした

団体の意見を加えながら、体育施設の建設について今後協議を行っていただきたいと思う。

また、真野小の跡地についても現在、真野小学校のPTAにアンケートを行っている。内容がまとまったら、皆さんにお知らせをしたい。

○郡委員

真野地区まちづくり委員会において、真野小学校の跡地問題で具体的な意見をまとめているようだ。

■地域振興課長

真野地区の区長会の方にも情報をお願いしている。それをまちづくり委員会で取り上げていると思われる。

○西(道)委員

課題の数が多いが、これでビジョンを作るのか。

■澤田会長

まちづくり委員会でまとめたものと合わせ、全部の中から最終的に地域協議会の委員で整理したい。

○西(道)委員

委員から挙げられた課題・要望は復旧を求める内容が多く、全然新しいものがなく、これからの鹿島をこうしたいというものが見えてこない。

サービスエリアでの化石発掘、馬の話はまさに、今後の鹿島をどのようにしていくかというビジョンだと思う。それを踏まえて、化石、馬、ペット霊園の3つを提案したい。

双葉断層から化石がたくさん出る。子供たちの修学旅行で、化石の発掘が体験できる。馬に乗ってセブンイレブンに買い物に行ける、といったらたいへん喜ばれると思う。

寺内のセブンイレブンに馬つなぎ場を設け買い物ができるようにしたら、日本中や世界中から人が集まるであろう。

他では取り組んでいない、鹿島区が1番最初の事業となるものを地域協議会でビジョンとして考えたほうが良いのではないか。

○澤田会長

西(道)委員がおっしゃったように、本当の復興は新たな地域の特性を作っていくという発想も必要かと思われる。

スマートインターができ、人が出ていくだけでなく入ってくるような地域の魅力を、打ち出すことも必要。

○西(文)委員

挙げられた課題・要望は膨大な数である。優先順位を決めてはどうか。

○郡委員

コミュニティの中でお年寄りの対策、お祭りのなものなど、項目を整理して、その中で優先順位を決め、さらに時間があれば住民アンケートを行うことなどの検討も必要と

思う。

○前田委員

追悼式や合同慰霊祭を開催する慰霊碑を作ってほしい。

■区役所長

慰霊碑(塔)については、各地域で建立している事例がある。市が震災を記憶する公園施設として、北泉の公園を復旧し、震災のメモリアルパークという形で整備しようという計画で進めているが、鹿島区としての計画はない。

○五賀委員

教育文化スポーツ⑩「みちのく野球場」の復旧工事が設計に入っているということで、以前から承知はしているが、27年4月に再オープンしたときに、記念になるようなイベントをしたほうが良い。どのような使い方をしていくかビジョンの中に取り入れたい。

■区役所長

所管の方で、計画に示した完成時期に合わせて実施設計を組むよう準備を進めている。再オープンのセレモニーについては、今後検討していく内容。有効利用する上での捉え方というのは、ビジョンに盛り込んでも良いと思う。

○郡委員

いくつか部会を設置して整理する必要がある。私たちがいろいろ考えるというより、皆さんから出てきたものをどう整理してまとめるかというのが、大きな仕事になるかと思う。

○西(文)委員

重複して出された意見は整理していったほうが良い。

■地域振興課長

各行政区からまとめたものがそのまま提出されると、收拾がつかないため4地区のまちづくり委員会で整理し、提出していただくよう依頼している。

委員の皆さんからの課題・要望に合わせた中で、重複する内容を整理したり、項目を一つに集約できるものがあればまとめたり、優先する課題を選んでいただきたい。

市の状況も説明しながら、足りない事業があれば拡充するという形でやっていきたいと考えている。

○荒委員

一本松の件も入れていただきたい。

○立谷委員

食品の安全性について、地区ごとの食品データを広報紙に掲載するなど、情報開示をしっかりと行ってほしい。

○西(文)委員

今、委員の方々から出た意見でテーマが絞られるのではないかと。

○澤田会長

まちづくり委員会の意見と我々の意見が重複するものもあると思われるので区分しながら、本格的に7月から検討したい。

まちづくり委員会の意見も集約できたら、部会に分かれて整理するなど検討していきたい。

②視察研修について

■事務局

説明

○澤田会長

案がなければ、事務局のほうにお願いしたいと思います。10月上旬で予定したい。

6. その他

①次回地域協議会日程について

7月12日（金）開催予定。

7. 閉会

以上のとおり、相違ありません。

会 長 澤田 一夫

会議録署名人 立谷 ちず子

会議録署名人 大塚 悦子